

整理・整頓で気持ちよく 36



いよいよ平成30年(平成最後の年)ともお別れです。今年は、定年退職、半年間学校勤務、二人目の孫が誕生、しあわせ塾立ち上げなど、変化の激しい・充実した年であった。

年末には、家族で大掃除を実施した。少し時間がかかったが、みんなで役割分担して掃除をし、家中が驚くほど美しくなった。家も美しくしてもらい大喜びのことであろう。

今回は、大掃除において、整理・整頓が充実していた。

「整理」とは、「いる物といない物を分け、いない物を捨てる」ことである。

いつもは、なかなかいない物を捨てることはできないが、今回は、いない箱・古い本・使えなくなった物など、たくさんのいない物を思い切って、捨てることができた。

「整頓」とは、「必要な物をいつでもすぐ取り出せるよう、きれいに並べておく」ことである。

机の上と中・台所用品・本棚など、使いやすいように工夫し、きれいに並べることができた。

家族の協力で、気持ちよい大掃除であった。また、日頃から整理・整頓の意識をもって生活するようになっていきたい。



トイレに神様がいますよ 575



学習支援員として、小学校に約半年間勤務したことがありました。その時に、私は必ずトイレを見に行き、きれいにしてあるか確認するようにしていました。私は男性なので、主に男子トイレを見ていました。朝・休み時間・昼休み・放課後に、何回も見に行きました。

見に行き出してはじめての頃は、スリッパが並べてなかったり、おしっこで周りが濡れていたり、トイレットペーパーのくずが散乱していました。きれいなトイレと言える状況ではありませんでした。しかし、何回も見に行くにつれて、子どもたちが気をつけるようになり、美しいトイレに変わっていきました。私が指導していた荒れていたクラスも、不思議とトイレがきれいになるにつれて、落ち着いたクラスに変わってきました。半年後には、意欲的に授業に参加し、みんな仲良しのクラスになりました。

トイレには、神様がいるのでしょう。

トイレをきれいにすると、不思議なパワーが出てきます。

ここで、植村花菜の「トイレの神様」の歌詞を一部紹介します。

小三の頃からなぜだか

おばあちゃんと暮らしてた

実家の隣だったけど

おばあちゃんと暮らしてた

毎日お手伝いをして

五目並べもした

でもトイレ掃除だけ苦手な私に

おばあちゃんがこう言った

トイレには それはそれはキレイな

女神様がいますんやで

だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに

べっぴんさんになれるんやで

その日から私はトイレを

ピカピカにし始めた

べっぴんさんに絶対なりたくて

毎日磨いてた

買い物に出かけた時には

二人で鴨なんば食べた

新喜劇録画し損ねたおばあちゃんを

泣いて責めたりもした

トイレには それはそれはキレイな

女神様がいますんやで

だから毎日 キレイにしたら 女神様みたいに

べっぴんさんになれるんやで

おばあちゃんが、言った「トイレには神様がいます」を信じて、トイレをきれいにする女の子の姿が、素晴らしいと思います。

神様が、女の子を必ずべっぴんにしてくれるでしょう。

顔だけではありません。

心もべっぴんにしてくれると思います。

さらに神様は、女の子とおばあちゃんの深い絆をプレゼントしてくれるでしょう。

トイレには神様がいますと思い、いつもトイレを一番きれいな場所にしたいものです。

キレイな部屋で気持ち良く 633



毎日生活する場所は、どこでしょうか。
それは、あなた自身の部屋なのです。

不思議なもので、あなたの部屋には、あなたの心が現れているのです。
住んでいる場所は、住んでいる人と関係が深く、運氣とかツキというものに深く関係しています。

運がいい人の家を訪ねると、キレイに掃除されていて、整理整頓がなされ、つい長居したくなるような心地良い空気が流れています。

おもしろいことに、ものすごく成功している人は、ものすごくキレイ好きだったりします。

反対に、「この人って、実力はあるのに今ひとつ伸びないなあ」というような人の家を訪ねると、雑然と散らかっていて、なんとも落ち着かない雰囲気ということがあります。

そこで、まずはあなたがツイていないと感じるならば、部屋の掃除をすることをおすすめします。
部屋がキレイになれば、家全体をキレイにするといいでしょう。

運の神様は、「整理整頓されたキレイな部屋や家」が好きなのです。
キレイな部屋や家であれば、みんなが訪れやすい良い空間になります。

するとあなたにとって、幸運な人の縁が運ばれてくるかもしれません。
いつもキレイな部屋で気持ち良く過ごす、心もキレイな人になるのです。



使った物はきちんと片付けよう 862



いろいろな職場を見て回ると、すぐにその職場の状態が、わかることがあります。それは、社員の机の上の整理・整頓が、できているかです。

机の上がきれいであれば、日頃から小さい事まで、気配りがなされ、美しい環境作りに、取り組んでいることが、わかります。そのような職場の状況は、会社が上手くいっていて、人間関係も良好なのです。

学校においても、子どもたちの靴箱の様子を見てみると、落ち着いている学校は、靴がきれいに整理・整頓されています。荒れている学校は、靴がバラバラな状態で、置かれているのです。

曹洞宗の開祖である道元禅師が、次の言葉を、残しています。

**高い場所に、片付けておくべきものは、
高いところに、きちんと安置しておきなさい。
低いところに、置くべきものは、
低いところに、ていねいに片付けておきなさい。**

この言葉は、「食事の用意に使った道具は、使い終わった後、所定の場所に、きちんと片付けておきなさい。高い場所にあった道具は、きちんと高いところへ安置し、低いところにあった道具は、低いところに、ていねいに片付けておきなさい」と、伝えています。

どうしてそんな小さなことを、言っているのかと、思うかも知れませんが、しかし、そこには道元の深い教えが、あるのです。

この言葉の本当の教えは、「ものを所定の位置に、きちんと片付けることで、自分自身の感情の整理ができ、心が平安になる。逆の言い方をすれば、身の回りのものが、散らかっていることは、心の乱れにつながるから、注意しなさい」と、いうことです。

感情が落ち着いて、何事も集中して取り組める人は、周りの環境にも、気を配ることができるのです。逆に、感情がイライラして、集中力に欠ける人は、周りに対する注意も、散漫なのです。

そんな人は、仕事で使っているデスク、作業用の道具箱、食器棚、靴箱、本棚、衣類ケースなど、自分の周りにあるもの・使ったものを、所定の場所に、きちんと片付けましょう。

**片付ける行為を通して、感情が整理され、落ち着きを、取り戻せるのです。
片付けは、落ちついた心を、取り戻す大切な機会なのです。**